



伊万里津大橋を駆け抜けるランナーたち



自分の体力に合わせて、ゆっくり、気長に走りました。



親子で応援「頑張れ〜!!」



思い思いの格好で走るランナーたち。楽しみ方は人それぞれですね。



↑ゲストランナーの谷口浩美さん

市制60周年記念事業

伊万里ハーフマラソン2015



1月11日、市街地や伊万里湾大橋を巡る『伊万里ハーフマラソン2015』が開催されました。ゲストランナーに谷口浩美さんを迎え、九州各地をはじめ、全国から2,000人を超える市民ランナーが参加。ハーフ(21.0975㎞)や10㎞、3㎞のコースに分かれ、初春の伊万里路を爽快に走り抜けました【13ページに関連記事を掲載しています】



ハーフを『裸足』で完走



激しいデッドヒートを繰り広げる場面も。



駅通商店街を軽快に走るランナーたち



相生橋を疾走するランナーたち



先導車の白バイの乗り心地はどうか？



市民センターで、『伊万里グリーンカレー』を試食



給水所では、市民ボランティアがサポートに大活躍



伊万里湾大橋付近も、大勢のランナーで長蛇の列



人のうごき

平成27年1月1日現在

- 人口 56,934人 (-30)
 - 男 27,260人 (-30)
 - 女 29,674人 (±0)
 - 世帯 22,727世帯 (+6)
- ()は前月比

広報伊万里 2015-2

- 発行日/平成27年2月1日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係 (0955)23-4313 (ダイヤルイン)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/株式会社三光

『ふるさと納税』制度をご存じですか。納税といっても、分類は寄付。自分が住んでいる自治体や、応援したい自治体に寄付することができ、確定申告をすると、寄付した金額に近い税金が減額されるというものです。自治体によっては寄付金の使途を選択できる場合や、お礼に特産品などが送られてくる場合もあります。最近では、お礼の品ばかりが話題となつている気もしますが、個人が寄付金の使い道を選択したり、税金について考えたりと、個人の政治参加を促すきっかけとしては有効な手段ではないかと思えます。今後、利用限度額の引き上げや、申告手続きの簡素化もされるそうなので、寄付が身近なものになるのではないのでしょうか。市でも本市への寄付者に対して、1月からお礼の品を拡充し(広報伊万里1月号8・9ページに掲載)、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」にも掲載しています。その効果もあつてか、伊万里のサポーターも増加中のようにです。これから寄付をしようとお考えの人は、ぜひ伊万里を応援してくださいね。(全)

編集室から